

先端技術へのゲートウェイ JIAMから世界へ

2008年JIAM国際アパレルマシンショーが、5月13日(火)~16日(金)の予定で、シンガポールで開催されます。日本の業界が主催する展示会が、海外で開催されるのは初めてのことで、先端的な試みとして国内外からも大きな注目を集めています。

シンガポール開催のねらい

主催者の(社)日本縫製機械工業会榎本陸専務理事は、シンガポール開催のねらいを「2005年のクォーターフリーを契機に、アパレル生産及び製品のマーケットは一気にグローバル化しました。日本の縫製機械業界も、アジアのメーカーとしてのより視野を広げた戦略が不可欠になっています。こうした中で、JIAMには日本のメーカーだけでなく広く世界のアパレルメーカーに御参加いただき、アジア及び世界からアパレル生産に携わるお客様を御招きする……という本来の国際的な展示会の狙いをさらに進めるために、アジアのハブ都市であるシンガポールで開催することになったものです」と語る。

日本のアパレルマシンは、品質・機能ともに最先端を行く高い技術力が知られているだけに、今回のシンガポールでの開催はグローバルなマーケットを視野に入れたものとして内外からも高い評価を得ているようです。

特徴は多彩なプログラム

テーマは「先端技術へのゲートウェイ JIAMから世界へ」。これを受けて、JIAM2008では以下のような企画があります。

主催者企画を「テーマゾーン」で展開

国際シンポジウムの開催

トレード・ショーとしてのJIAM 2008 Singapore

来場者・出展者に向け、最新技術開発の方向性と各分野のあるべき姿が分かりやすく紹介されます。

縫製機械業界・アパレル業界には大きな変化が訪れていますが、縫製品製造業と販売業が持続可能なビジネスとして発

展することを願って“サステナブル・ビジネスへのソリューション”をテーマに特別プレゼンテーションを展開。企業の社会的責任と信頼の構築に向けた「マーケティング・ソリューション」、最先端技術によるモノづくりへの「テクニカル・ソリューション」、そして地球環境と人に優しい「環境ソリューション」の3つのテクノロジーを紹介し、専門家によるシンポジウムも開催されます。

<JIAM 2008 Singapore>は情報発信基地であると同時に、ビジネス・トレード・ショーです。国際間のビジネスを支援します。

名称：国際アパレルマシンショー(JIAM 2008 Singapore)
テーマ：先端技術のゲートウェイ JIAM から世界へ
会期：2008年5月13日(火)~16日(金)
開場時間：10:00~17:00(最終日は16:00まで)
会場：シンガポール・エキスポ 2~4号館
主催者：社団法人 日本縫製機械工業会(JASMA)
後援：経済産業省/シンガポール政府観光局/日本貿易振興機構(JETRO)/日本商工会議所
入場料：事前登録の場合は無料。当日入場の場合は10シンガポールドル(4日間有効・税込)



(社)日本縫製機械工業会 専務理事
榎本陸さん



JIAMテーマゾーン

JETROが独自パビリオンで参加 「中小企業の海外進出を豊富なノウハウで支援したい」

2008JIAM国際アパレルマシンショーの大きな特徴の一つが、日本貿易振興機構(JETRO)の独自パビリオンでの参加です。JETRO(独立行政法人日本貿易振興機構)では、その目的を「我が国の貿易の振興に関する事業を総合的かつ効率的に実施すること並びにアジア地域等の経済及びこれに関連する諸事情について基礎的かつ総合的な調査研究並びにその成果の普及を行い、もってこれらの地域との貿易の拡大及び経済協力の促進に寄与することを目的とする。」としています。

JETROパビリオン出展のねらい

今回、中小企業の国際化、製品イメージの向上、海外販路開拓等を支援するため、中小企業の出品を募り、ジェットロ・パビリオンとして参加しています。予定小間数は64。

同機構の展示事業部海外見本市課長栗田宣文さんは「今回のJIAMは、JETROにとっても大変に注目している展示会です。というのは、日本の業界団体が主催する単独の展示会を海外で開催するのはわが国初の試みで、その英断を高く評価しています。特に、アジア地域は世界のアパレル製造の拠点となっており、日本の優れた縫製関連機器・技術の導入に積極的です。よりユーザーに近いところで、ユーザーの利便を考えて見本市を開催するという今回の展示会は、近隣諸国からの多数の来場者が見込まれており、中小企業の海外進出をご支援させていただきたいと、今回のJETROパビリオンの出展を決めました。これまで培ってきた貿易・海外連携のノウハウを駆使して、多くの中小企業に国内の展示会と同じように気軽に御参加いただけるように支援することで、海外進出の御手伝いをしたい」

と出展のねらいを語る。

国内展示会同様に展覧が可能

JETROパビリオンに参加するメリットは、同機構の豊富なノウハウをそのまま活用できること。出展に当たって、政府のバックアップもあり、すべて日本語で出展作業が進められるなども便利。

また、貿易実務に関する相談・アドバイス、シンガポールはじめアジア各国にあるJETROの事務所等を活用することも可能で、海外貿易経験の少ない中小企業にとっては、大きなメリットになるでしょう。

製造業のアジア進出は大きな流れでもあり、海外に出にくい中小企業にとってJETROのパビリオンへの出展は海外展開への大きな足がかりになりそうです。



独立行政法人 日本貿易振興機構
展示事業部 海外見本市課長
栗田宣文さん